

1. 令和7年（2025年）5月20日午前10時

豊中市教育委員会会議を第二庁舎3階大会議室に招集する。

2. 本日の出席委員等

教	育	長	岩	元	義	継
教育長職務代理者			山	野	佳	世子
委		員	赤	尾	勝	己
委		員	堀	田	博	史
委		員	黒	田	久	美子

3. 本日の議事日程

第1	議事録署名委員の指名について
第2	前回議事録の承認について
第3	教育長等の報告について
第4（報告第9号）	専決処分の報告について
第5（議案第19号）	令和7年度（2025年度）豊中市一般会計補正予算 見積要求について
第6（議案第20号）	豊中市学校教育審議会委員の委嘱について
第7	その他

4. 本日の出席事務局職員

事務局 長	森 山	幸 雄
教育政策 監	中 尾	栄 一
理 事	堤	昌 子
次長兼教育総務課長	田 上	淳 也
次長兼社会教育課長	北 村	宣 雄
次長兼学校給食課長	勝 井	隆 文
次 長	花 山	司
教育総務課主幹	尾 崎	誠 一
教育総務課長補佐	西 岡	良 和
教育総務課長補佐	大 森	紀 子
学務保健課長	中 積	崇
学校施設管理課長	桑 田	篤 志
読書振興課長	西 口	光 夫
教職員課長	倉 田	仁 一
教職員課主幹兼課長補佐	大 堂	晃 嗣
教職員課主幹	松 村	有
豊中市教育センター所長	松 田	貴 正
学校教育課長	小 渡	豊
学校教育課主幹	亀 田	悦 郎
学校教育課主幹	佐 加	康 彦
児童生徒課長	込 山	隆 之
学び育ち支援課長	小 林	利 男
中央公民館長	本 田	光 直

5. 本日の書記

教育総務課総務係長	武 市	香 織
教育総務課主査	外 園	博 人
教育総務課事務職員	塩 塚	明 良

— 議 事 —

岩元教育長

まず、本日の会議の進行について、委員の皆様にお諮りします。

会議時間の短縮のため、本日の会議の進行については、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、本日の会議の進行につきましては、議事日程の朗読や議案の朗読は省略させていただきます。

本日の会議の成立要件をご報告ください。

武市書記

本日は松本委員がご欠席ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席されていますので、本日の会議は有効に成立していることを報告いたします。

岩元教育長

本日の議事日程については、議案書の1ページに記載のとおりです。

山野委員

動議を提出いたします。

日程第4から日程第6までの3案件につきましては、人事行政の公正かつ適切な執行の確保とプライバシー保護を要する案件、また市において調整・検討を要する意思形成過程の案件であることから、秘密会で審議することの動議を提出いたします。

また、このことに伴いまして、議事運営を効率的に行うため、全案件の議事の順序を日程第1から日程第3まで、日程第7、日程第5、日程第6、日程第4の順序で行うよう、議事順序の変更動議を提出いたします。

岩元教育長

ただいま山野委員より、日程第４から日程第６までの３案件について秘密会で審議すること、また議事運営を効率的に行うため、全案件の議事の順序を日程第１から日程第３まで、日程第７、日程第５、日程第６、日程第４の順序で行うよう議事順序の変更動議が提出されましたが、この件についてご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、日程第４から日程第６までの３案件について秘密会で審議すること、また議事運営を効率的に行うため、変更動議のとおり議事順序を変更することを決定します。

それでは、秘密会に属する案件に関するものを除き、議案書等を閲覧用として傍聴人に配付してください。

(事務局より配布)

岩元教育長

日程第１・議事録署名委員の指名につきましては、今回は山野委員と黒田委員にお願いいたします。

日程第２・前回議事録の承認につきましては、既に会議録を委員の皆様方に配付しております。また、署名委員のご署名をいただいておりますので、原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、前回議事録の承認につきましては、原案のとおり承認することにいたします。

続きまして、日程第３・「教育長等の報告について」を議題といたします。

森山事務局長

私から、本年４月１３日に開幕した大阪・関西万博における本市立学校の校外学習等の訪問状況について報告します。

４月１４日、第九中学校をはじめに、５月１６日現在で１４校が大阪・関西万博を訪問しました。今後、１０月１３日の閉幕までに小学校２１校、中学校８校が訪問の予定をしております。

５月１日に参加した螢池小学校校長からは、ほぼ下見どおりの行程で実施ができ、子どもたちは、混雑した中で少し疲れたようだったが、「楽しかった」「また家族と行きたい」などの声が報告されています。

懸念されたゲート入退場時の待ち時間の問題は、これまで万博を訪問した市立学校からは報告されていません。またパビリオン見学について、多くの学校は当初の想定どおりの見学ができたとのこと。ただ、一部待ち時間が長いパビリオンもあり、予定を変更して空いているパビリオンや、複数の国や地域が共同で出展しているコモンズ館を見学した学校もあったとのこと。

市教委は、これまでからも「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博訪問の教育的意義を各校に説明するとともに、各校からの様々な問合せに丁寧に対応し、各校の万博訪問体制づくりの支援に努めてまいりました。

開幕後においては、学校間における実際の経験に基づく情報共有も重要と判断し、マイクロソフトのチームズで情報共有の場を開設しました。既に複数の学校から校外学習のしおりをはじめ、今後訪問する学校にとって役立つ情報を投稿いただいております。

今後も子どもたちにとって安全・安心で、教育的意義のある訪問となるよう全力で学校を支援してまいります。

岩元教育長

大変心配していた万博への学校訪問でございますが、教職員の皆さんの努力もあり、よかった点、しんどかった点、いろいろあるとは思いますが、大きな事故もなく何とかこれまでは順調に来ていると思います。

これから暑くなっていきますので、学校でしっかり熱中症対策もとっていただき、また、万博協会も給水所の数を増やすなどいろいろな対応をやっていただけるということですので、しっかり推移を見守りながら、子どもたちが安全に行ける体制を整備していきたいと思います。

ただいまの報告についてご質問、ご意見等はございますでしょうか

(ありませんの声あり)

岩元教育長

それでは、ご質問等ないようですので、教育長等の報告についてを終了することにいたします。

続きまして日程第7・「その他」といたしまして、「豊中市立第八中学校区における中学校併設型小学校・小学校併設型中学校の学校運営のあり方について」を事務局より報告の上、意見交換を行います。

それでは、内容の説明をお願いします。

亀田主幹

本件につきましては、令和5年11月から学校教育審議会において6回にわたり審議してまいりましたが、このたび、5月9日に答申をいただきました。

本答申におきましては、本市の小中一貫教育の考え方にに基づき、学園制としての要件を整理した上で、組織運営体制や教育内容など第八中学校区の学園制のあり方についてご意見をいただいております。

目次に記載のとおり、構成は6項目になります。

2ページをご覧ください。

第1章「豊中市がめざす小中一貫教育」について、学園制推進に係る基本的方向性でございます。学園制にふさわしい体制として、組織や研修の在り方、教育委員会としての支援などについてまとめられております。

10ページをご覧ください。

第2章「第八中学校区における小中一貫教育」について、第八中学校区の教育目標である「もちあじ」、「つながり」、「チャレンジ」を踏まえ、探究学習を軸とした教科研究や総合学習の推進などについてまとめられております。

15ページをご覧ください。

第3章は、第2章「第八中学校区としての小中一貫教育」を踏まえ、「第八中学校区における学園制の基本的方向性」がまとめられております。

18ページをご覧ください。

第4章「第八中学校区におけるカリキュラム」でございます。第八中学校区では、審議会での議論や関係校での学園制の検討に合わせ、探究学習の試行実施を進めておりますが、その状況については審議会でも報告してまいりました。本章では、カリキュラムの基本的な考え方や取組の工夫例についてまとめられております。

19ページをご覧ください。

第5章「第八中学校区における学校・保護者・地域の連携」でございます。学園制を支える仕組みとして、学校・保護者・地域の連携、コミュニティスクールについては、学園長が中心となった運営など、そのあり方についてまとめられております。

20ページをご覧ください。

第6章「その他」でございます。

小中一貫教育推進の評価等についてまとめられております。

以上が答申の内容でございます。

今後、この答申を基に令和8年4月の学園制の開始に向け、組織運営構築や、第八中学校としての特色ある教育活動、独自カリキュラム導入などに取り組んでまいりますとともに、第八中学校の学園制の運営に関する計画を今年度末を目途にまとめてまいりたいと考えております。

岩元教育長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

堀田委員

学園制に関して、一つの中学校区内で小学校が幾つかある中で、共通するカリキュラムができたときに、学校間での格差のようなものが起こらないように、横のつながりが、より密にならないといけませんし、これまで同様期待されるのですが、その辺り上手な仕組みをしっかりとつくっていただきながら、カリキュラムがうまくいっていないときのお互いの援助などについて、この答申の中では、いろいろなところで散りばめられているのですが、やはりスタートし、いろいろなことが起こり学校間での格差が起こったときに、学園制を引いているのに、結果的に今までと変わらないというようなことにならないようにチェックポイントを用意して、マイルストーンのようなもので評価が小刻みに行われていくような仕組みがあればいいのではないかと思います。

亀田主幹

ただ今いただきましたご意見につきまして、答申書にも各章で触れておりますが、現在、開校に向け代表者会議を設けておりまして、学校間でどのように緊密に連携しながらカリキュラムや教育活動を展開していくかについて議論しているところでございます。

ご指摘のとおり評価による一つ一つの積み上げが大切であると思いますので、ご意見を踏まえ、開校準備を進めてまいりたいと思います。

黒田委員

格差が課題ということも書かれていたと思いますが、9年制になるにあたり、工夫されることなどもこれから考えていかれるのでしょうか。

岩元教育長

学力の底上げについて、事務局いかがですか。

堤理事

小中一貫教育について、第八中校区をはじめ全市展開しておりますが、進めていく中で、小学校と中学校の先生たちの交流が活発になってまいりました。公開授業を通しながら先生方が子どもの理解を進めたり、授業改善を考えたりするような機会が多くなっております。

そのようなことから、小中一貫教育の推進は、学びの連続性として、この後、授業改善、更には学力向上というところにつながるといえますし、円滑な接続といたしましては、教育ダッシュボードの流れがございますので、子どものデータを積み重ねて、小・中学校の先生たちがよい方向に生かしていく流れを考えております。

堀田委員

今いろいろ聞いていると、管理職だけが代表者会議の中で議論するのではなく、先生同士の交流が非常に密になっていないと、EBPMの観点から、学校カルテから見えてきた課題と書かれているように、そのようなエビデンスがあって、それが大きな教育データであるとすれば、「このようなデータがあるからこういうふうにしましょう」と代表者会議の中で決めて、それを実施していても、やはりうまくいかない場合が多々あると思います。だから、現場の先生や子どもたちが見るには加工が必要ですが、そのデータを見ることができるような仕組みが、今回学園制を実現するに当たってはつくっていったほうが、保護者側の負担がなくなっていくと思いました。

亀田主幹

エビデンスに基づく取組みというところは当初からありまして、学校カルテ等をつくり、現場の先生方と課題を共有しながら進めてまいりましたが、現場の先生方が

見て分かるもので言いますと、今後もその内容については検討する必要があるかと思っております。

代表者会議の中には、管理職以外に教員の代表にも会議に入っていていただき、その会議の中でも議論しておりますので、今のご意見も踏まえ、今後どのような形で進めていくのがいいか改めて考えてまいります。

岩元教育長

代表者会議が中心的な役割を担うと思いますが、そのほか全教職員が参加した分科会や教科会という形でも議論を積み重ねてきていますので、そのような中で今おっしゃられたような論点もしっかり共有し、議論していくことが肝要であると考えております。

山野委員

初めての学園制ということで、今後モデル校になっていくと思われませんが、第八中学校の現状と課題を見させていただいても、強みと弱みがあって、今後いろいろなカリキュラムを変えていったり、どのように連続性につなげていくのかということ、代表者会だけではなく、実際に現場の先生方が一緒になってやっていくということが一番大事であると思うのですが、学力だけではなく、生徒指導の面や不登校など、いろいろな課題も多くなってくると思うので、生徒指導と教科指導の一体化のようなことも想定しながらカリキュラムをつくっていただいて、第八中学校の場合の強みと弱みをこのようにして学校全体がよくなったとか、このような成果が上がったということが分かれば、次に学園制になる学校が、その学校の強みと弱みをどのように生かしていけばいいのかという参考になると思うので、カリキュラムを立てられるときに、代表者会だけではなくて、先生方と一緒に進めていただければいいのではないかと思います。

小渡課長

いわゆる生徒指導と教科指導に関しては、学校教育の中での車の両輪と言われるように中心的な課題となっておりますので、今年度1年かけて、各分科会でこの辺りの詰めの議論を行うこととしておりますので、今いただいたご意見も参考にしながら、しっかりと第八中学校区全体として、この2つの課題について取り組めるよう進めたいと考えております。

赤尾委員

中学校段階での部活動の地域移行について、何か独自に考えておられるものがあるのかどうか、お聞かせください。

小渡課長

部活動の地域移行に関しましては、第八中学校区だけでなく豊中市全体の課題ということで、数年前から教育委員会として重点的に取り組んでいるところでございます。

近年は、地域移行から地域展開と言葉が変わってきた部分もございまして、そのことに伴って、去年度あたりまでは、地域に移行すれば学校や教育委員会の主体的な関わりは終わりというようなところもあったのですが、今は連携してやっていく、学校も関わり続けるという中で、地域移行から地域展開へと変わってまいりました。この国の議論を踏まえまして、本市でも地域展開に向けたあり方を模索しているところでございます。まだ最終案は固まってははいないですが、そのような目途の議論をしながら、豊中らしい地域展開となるようご意見も踏まえて取り組んでまいりたいと考えております。

岩元教育長

しっかり整えながら地域で受けていただける団体との協議を進めていきたいと思っております。他市では一気に進められる方法をされている市もあるようですが、なかなかそれではうまくいかないのではないかと考えております。しっかり調整を図りながら、一步一步着実に進めていければと思っております。

ほかに何かございますでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

それでは、特にないようですので、以上で日程第7・「その他」についてを終了することにいたします。

以上で公開の会議を終わります。